

PGP Desktop9. ×
簡易ユーザマニュアル

Ver.4.0

2008/05/22

目次

- 1、はじめに
- 2、ソフトウェアのダウンロード
- 3、ソフトウェアのインストール
- 4、初期セットアップ
- 5、公開鍵の交換(公開鍵のエクスポートとインポート)
- 5、ファイルの暗号化・復号化
- 6、メールの暗号化・復号化
- 7、ハードディスク全体の暗号化

はじめに

- PGP Desktop9.×をインストールするにあたり、下記に挙げるものが必要となります。
 - PGP Desktop9.×のインストール用データ
 - PGP Desktop9.×の認証ライセンス情報

- PGP Desktop9.×をインストールするには、管理者権限が必要となります。

- PGP のライセンスは、PC 毎、且つログオンアカウント毎に必要となります。
そのため、後述の「初期セットアップ」作業を行い、認証を完了した場合、その際にログオンしておりますアカウントに対しまして、ご購入いただきましたライセンスのうちの 1 ライセンスが適用されることとなります。
この旨をご注意くださいますようお願い申し上げます。

- PGP Desktop9.×のライセンス認証の際に、PGP 社のライセンス管理サーバーと通信を試みます。
もし外部ネットワークとの通信に制限が掛かっている場合、別途マニュアルライセンス情報が必要となります。
詳細は、各お問合せ窓口にてご確認ください。

【PGP サポート問い合わせ窓口】

PGP 担当

TEL : 03-3342-1411

Mail : pgp@nsd.co.jp

※サポート受付時間 平日 9 時～17 時まで

3. ライセンス契約書が表示されます。

内容を確認後、同意する場合は「ライセンス契約に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

(図 3 参照)

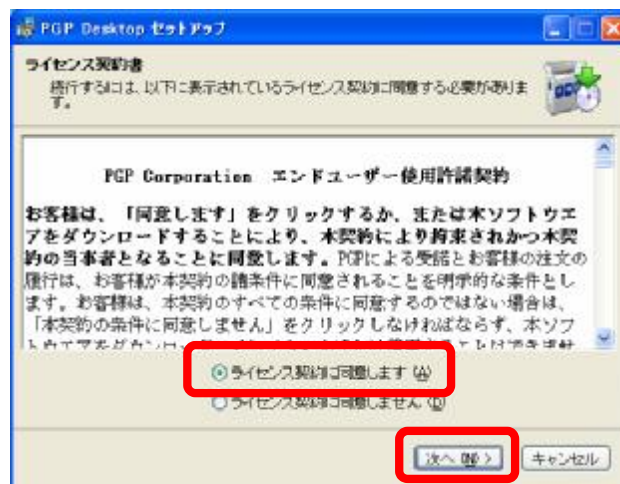


図 3

4. リリースノートが表示されます。

内容を確認後、「次へ」ボタンをクリックします。(図 4 参照)



図 4

5. インストールが開始します。
インストールが完了しますと、再起動を要求されます。
再起動可能な状態にして「はい」ボタンをクリックし、再起動します。(図 5 参照)



図 5

初期セットアップ手順

1. 再起動完了後、PGP Desktop9. ×を使用したい Windows ユーザーアカウントでログオンします。
2. ログオン完了後、「PGP セットアップアシスタント」が自動的に起動します。
「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。(図 6 参照)

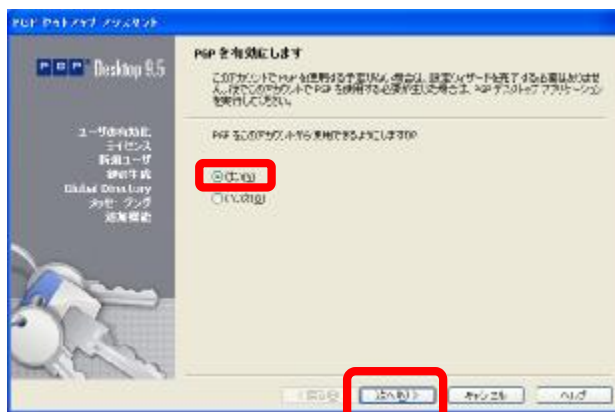


図 6

3. 「ライセンスアシスタント:ライセンスされた機能の有効化」が表示されます。
事前にご用意いただいた認証情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。(図 7 参照)
※ 「電子メールアドレス」欄の入力は任意になります。

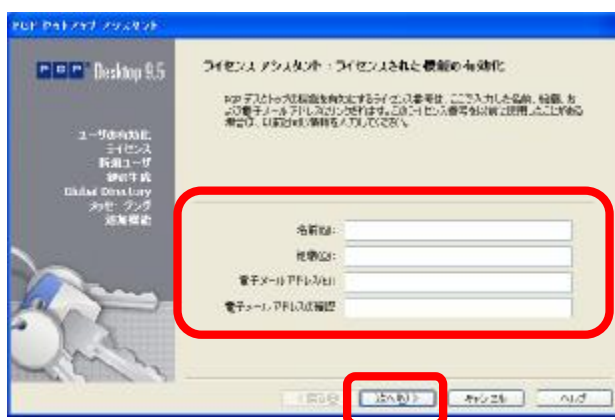


図 7

※ 図 7 では、参照例のため情報を空欄にしています。

4. 「ライセンスアシスタント:ライセンスの入力」が表示されます。

こちらでも事前にご用意いただいたライセンス番号を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。(図 8 参照)

※ ネットワーク環境に依りましては、PGP 社のライセンス管理サーバーと通信できないために
認証に失敗することがございます。(図 9 参照)

その際は、別途ご用意いただくマニュアルライセンス情報を用いることにより、ローカルで
認証可能です。

その手順につきましては、次章の「補足」をご参照ください。

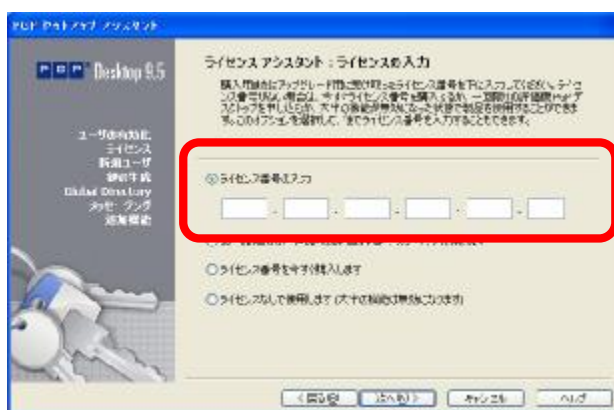


図 8

※ 図 8 では、参照例のため情報を空欄にしています。

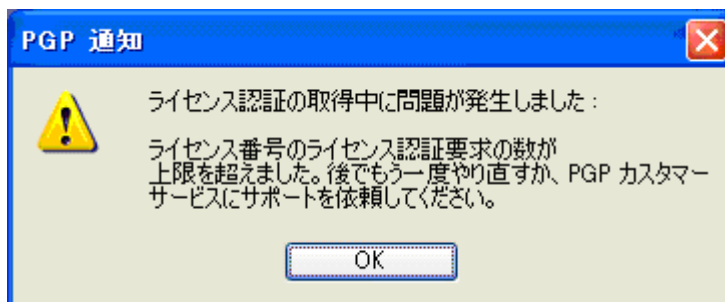


図 9

※ 図 9 は、表示されるエラーの一例です。

5. ライセンス認証が正常に完了しますと、有効化された機能の一覧が表示されます。
内容を確認後、「次へ」ボタンをクリックします。(図 10 参照)



図 10

6. 「ユーザの種類」が表示されます。
「PGP を初めて使用します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。(図 11 参照)

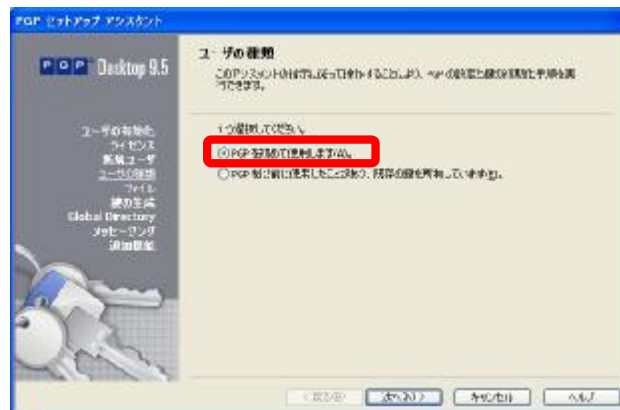


図 11

7. 「PGP 鍵生成アシスタント」が起動しますので、「次へ」ボタンをクリックします。(図 12 参照)



図 12

8. 生成する PGP 鍵の任意のフルネームと、その鍵に関連付ける電子メールアドレスを入力し、「次へ」ボタンをクリックします。(図 13 参照)

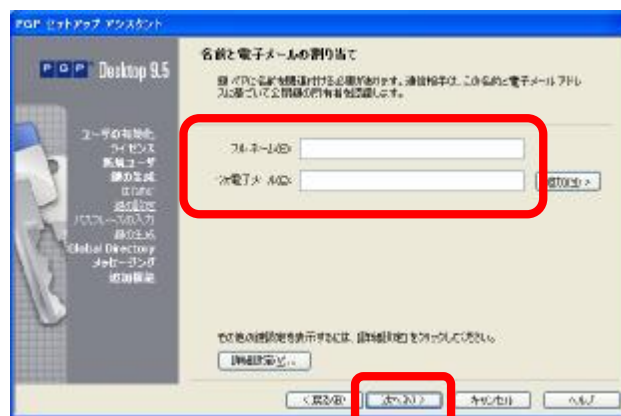


図 13

9. 生成する PGP 鍵を使用する際に入力するパスフレーズを、「パスフレーズ」欄と「確認」欄に入力します。
 (図 14 参照)

※ 「キー操作の表示」チェックボックスにチェックをいれますと、入力した文字を確認できます。

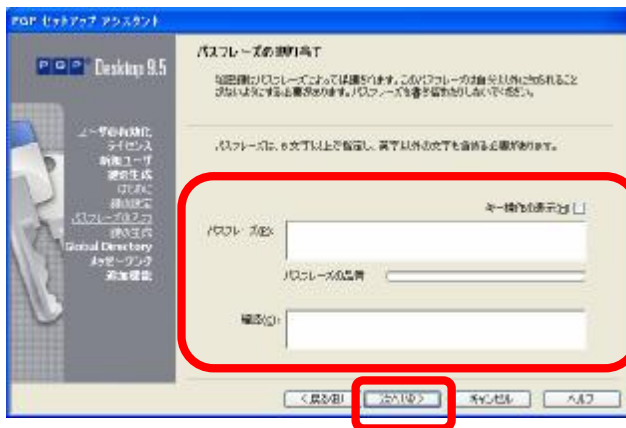


図 14

10. PGP 鍵の生成が開始されます。
 PGP 鍵の生成が正常に完了しましたら、「次へ」ボタンをクリックします。(図 15 参照)



図 15

11. 「PGP Global Directory アシスタント」が起動します。

PGP Global Directory へ公開鍵を登録する場合は、「次へ」ボタンをクリックします。

登録しない場合は、「省略」ボタンをクリックします。(図 16 参照)

※ 「PGP Grobal Directory アシスタント」では、公開鍵登録は LDAP にて行なわれます。

そのため、外部ネットワークに LDAP にて接続できないネットワーク環境では、この手順で公開鍵を登録することはできません。

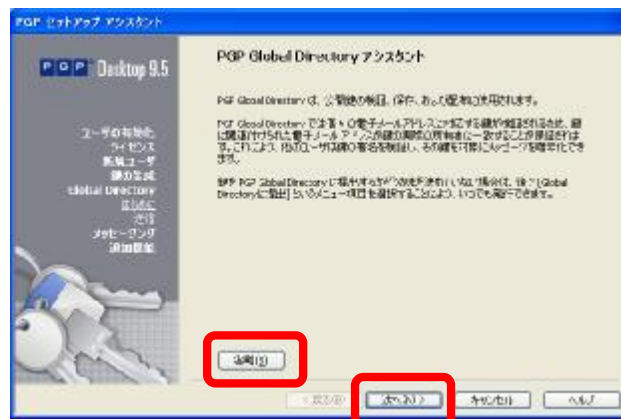


図 16

12. PGP Global Directory への公開鍵の登録を開始します。

正常に登録が完了しましたら、「次へ」ボタンをクリックします。(図 17 参照)

※ 手順 11 にて、「省略」ボタンをクリックした場合、この手順はございません。

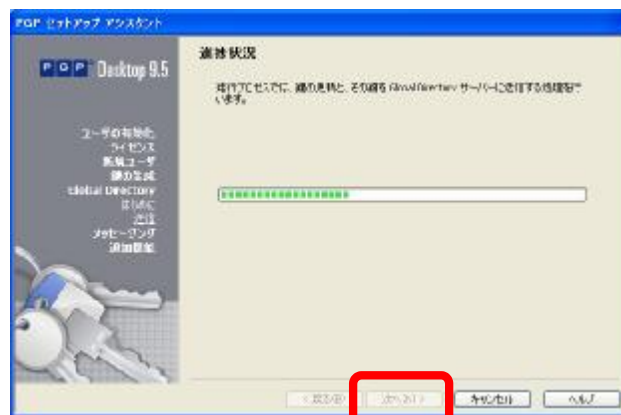


図 17

13. 「PGP メッセージング:はじめに」画面が表示されます。

「PGP メッセージング」機能の初期設定を行い、「次へ」ボタンをクリックします。(図 18 参照)

※ 「PGP メッセージング」機能がないライセンスの場合、こちらの画面は表示されません。

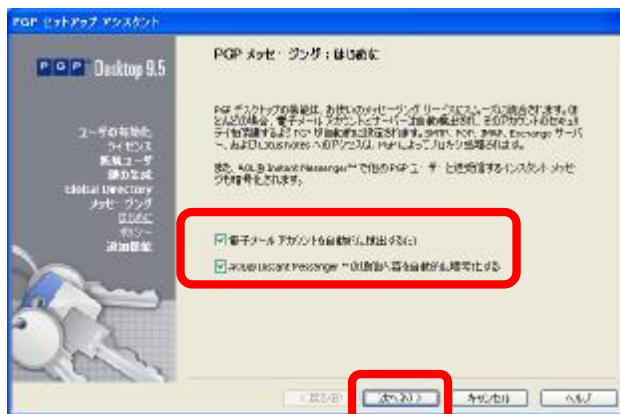


図 18

14. 「PGP メッセージング:デフォルトの発信メールポリシー」画面が表示されます。

それぞれの「詳細」ボタンをクリックしてポリシー内容を確認後、「次へ」ボタンをクリックします。

(図 19 参照)

※ 「PGP メッセージング」機能がないライセンスの場合、こちらの画面は表示されません。

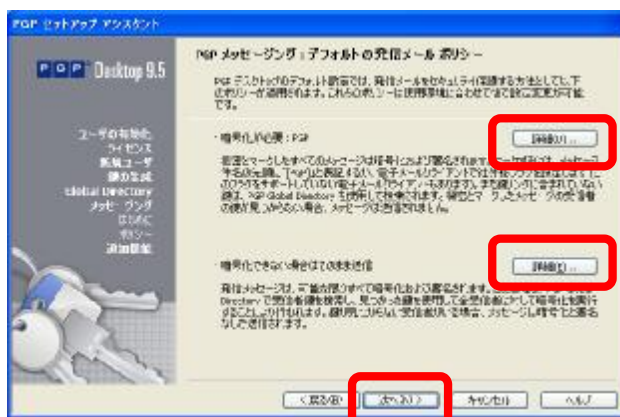


図 19

15. 「完了」画面が表示されます。

「完了」ボタンをクリックし、「PGP セットアップアシスタント」を完了します。(図 20 参照)

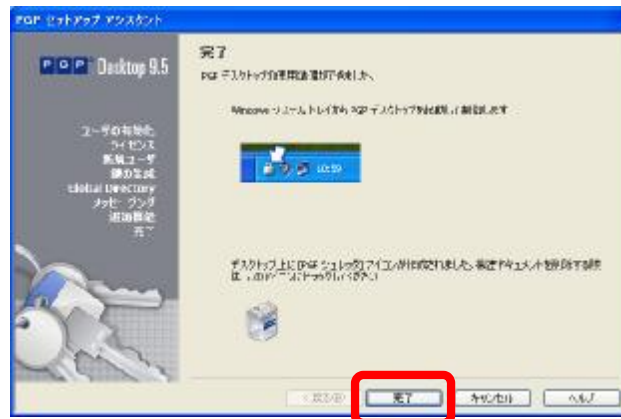


図 20

以上で、インストール作業は完了となります。

補足

マニュアルライセンス情報を用いたローカル認証の手順を示します。

1. 通常の認証ライセンス情報とは別に、マニュアルライセンス情報を入手します。
※ マニュアルライセンス情報の入手方法につきましては、各お問合せ窓口にてご確認ください。
2. 「初期セットアップ」の章の手順 4 より引き続きまして、「OK」ボタンをクリックし、エラーメッセージを閉じます。(図 21 参照)

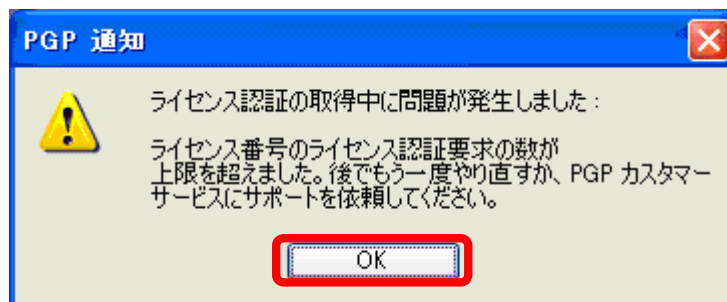


図 21

※ 図 21 は、表示されるエラーの一例です。

- 「ライセンスアシスタント:接続アシスタント」画面が表示されます。
 その中の「PGP カスタマーサービスが提供したライセンス承認情報を入力してください」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。(図 22 参照)

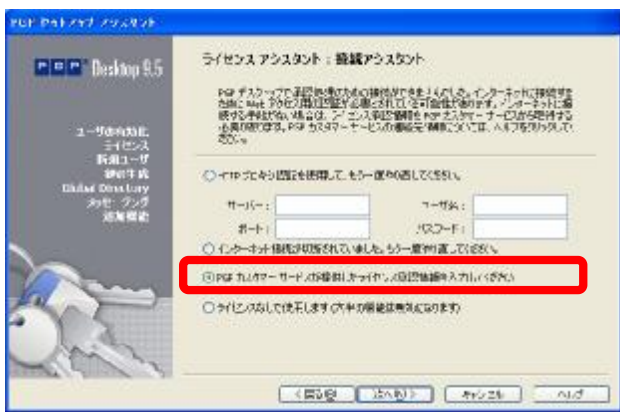


図 22

- マニュアルライセンス情報の入力ボックスが表示されますので、別途ご用意いただいたマニュアルライセンス情報を入力します。(図 22 参照)

※ マニュアルライセンス情報は、「-----BEGIN PGP LICENSE AUTHORIZATION-----」部分と「-----END PGP LICENSE AUTHORIZATION-----」部分も含めた形で入力します。

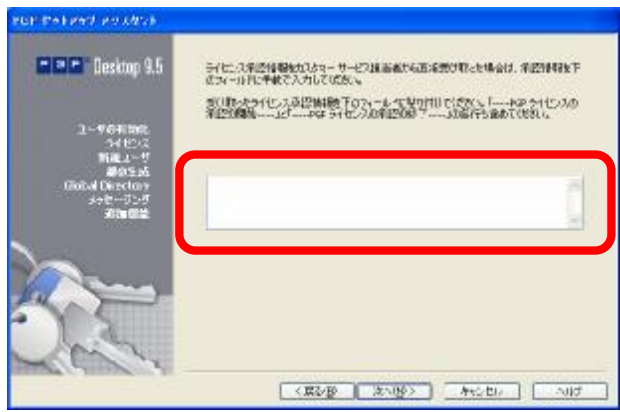


図 23

- ライセンス認証が正常に完了しますと、「初期セットアップ」の章の手順 5 に引き続きます。
 以後の手順は「初期セットアップ」の章をご参照ください。